

KU: P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL

薬剤部 部署の特徴



薬剤部の基本情報

主な業務指標	
病棟薬剤業務実施加算1	届出済
病棟薬剤業務実施加算2	届出済
薬剤管理指導料算定件数	2,399件/月 (2019年度)
抗がん剤無菌調製件数	外来 1,255件/月、 入院785件/月 (2019年度)
高カロリー輸液無菌調製件数	805件/月 (2019年度)
薬物血中濃度モニタリング件数	2,054件/月 (2019年度)
治験契約件数 (新規/継続)	27件/80件 (2019年度)
実務実習生受け入れ人数	58名 (2020年度)

専門・認定薬剤師の研修施設認定

- ・ 日本医療薬学会 認定薬剤師制度研修施設
- ・ 日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
- ・ 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・ 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師研修施設
- ・ 日本病院薬剤師会 HIV感染症薬物療法認定薬剤師研修施設
- ・ 日本臨床薬理学会 薬物療法専門薬剤師研修施設

スタッフ

職員

教授・薬剂部長 1名

准教授・副部长
(薬学部所属1名含む) 2名

副部长 3名

教員 (薬学部所属1名含む) 6名

主任 11名

薬剂師
(うちレジデント8名) 61名

技術補佐・事務補佐 15名

臨床研究統合センター治験管理部職員

薬剂師 12名

事務補佐 4名

(2020年4月時点)

認定・専門薬剂師

日本医療薬学会

- ・指導薬剂師 (10名)
- ・認定薬剂師 (23名)
- ・がん指導薬剂師 (1名)
- ・がん専門薬剂師 (2名)

日本病院薬剂師会

- ・認定指導薬剂師 (1名)
- ・病院薬学認定薬剂師 (18名)
- ・がん薬物療法認定薬剂師 (1名)
- ・感染制御認定薬剂師 (2名)
- ・HIV感染症専門薬剂師 (1名)
- ・妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剂師 (1名)
- ・精神科薬物療法認定薬剂師 (2名)

日本薬剂師研修センター

- ・実務実習指導薬剂師 (16名)

日本化学療法学会

- ・抗菌化学療法認定薬剂師 (1名)

日本糖尿病療養指導士認定機構

- ・糖尿病療養指導士 (6名)

日本臨床薬理学会

- ・指導薬剂師 (2名)
- ・認定薬剂師 (4名)
- ・認定CRC (2名)

日本アンチ・ドーピング機構

- ・スポーツファーマシスト (2名)

日本病態栄養学会

- ・NST研修修了 (1名)

(2021年9月時点)

レジデント制度

京大病院薬剤部では、効率的な新人教育を実施するためにレジデント制度を開始しています。2年間のレジデントプログラムにより病棟業務を含めた基本的な薬剤師のスキルの習得を目指す教育を行なっています。

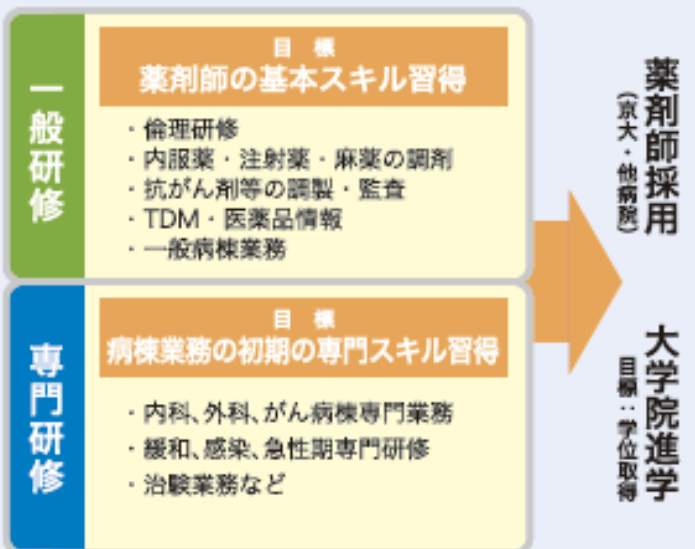
教育プログラム

(一例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レジデントプログラム 一般研修	午前	初期研修	内服薬・注射薬調剤		ケモ調製	病棟業務(内科)			病棟業務(外科)			
	午後											
	プラスα		持参薬チェック			内服薬・注射薬調剤/TDM			ケモ調製/DI			
	研修課題	マニュアル勉強							症例発表			
レジデントプログラム 専門研修	午前	内服薬調剤		内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ		ケモ調製						
	午後	内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ		注射薬調剤		内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ						
	プラスα	NST		ICT		緩和						
	研修課題	研究テーマ決定	論文紹介	症例発表		学会発表要旨	論文紹介	症例発表		学会発表		成果報告会
勉強会(一例)	電カル使用法	処方監査	薬品管理	医療安全	がん薬剤調製	病棟業務	インスリン	TDM	疼痛管理			
学会						医療薬学会参加(東京)						
勉強会(一例)	電カル使用法	処方監査	薬品管理	医療安全	がん薬剤調製	病棟業務	インスリン	TDM	疼痛管理			
学会												

*職員への業務相談

レジデントプログラム



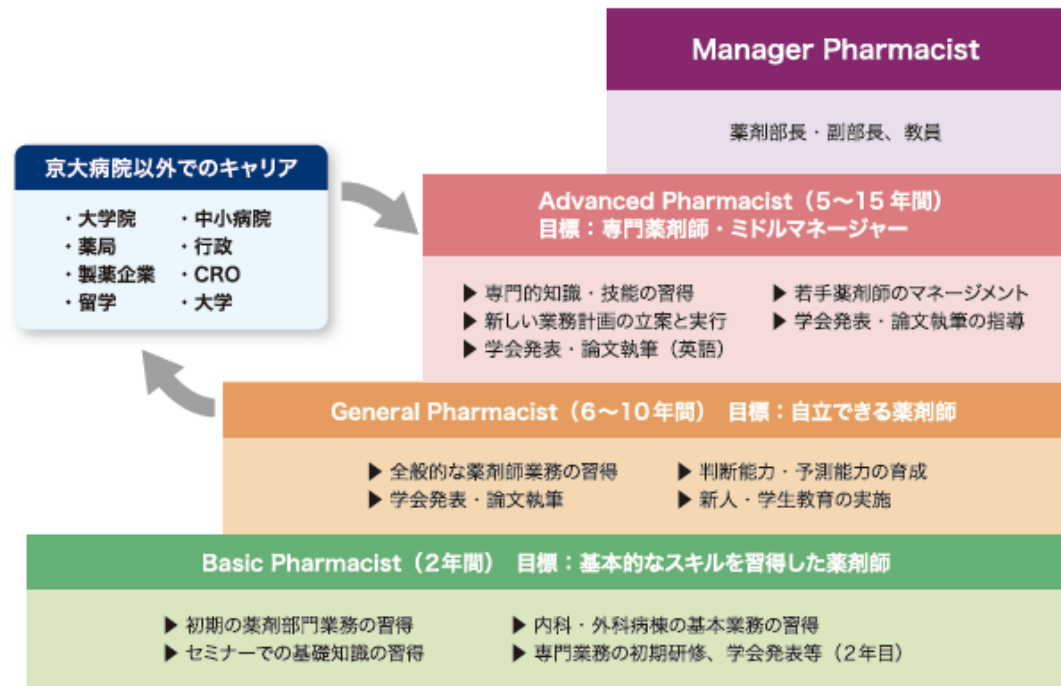
キャリアパス

京大病院薬剤部では、各職員のキャリアパスを支援します。

レジデント制度により、基本的な薬剤師のスキルの習得を目指します。その後、6-10年をかけて、様々な薬剤師業務で自立して判断・行動できる薬剤師への成長を目指します。

そして、それぞれの専門性を持つ専門薬剤師を目指します。各薬剤師の専門性を生かすことのできる業務や各業務部門のリーダー・ミドルマネージャーとして、部としての方向性に沿って、部署の運営を担います。

最終的に、本人の副部長、他病院の薬剤部長、大学の教授として栄転する人も多くいます。



京都大学医学部附属病院薬剤部出身の教授・薬剤部長

国立大学病院

- ・山形大学医学部附属病院
- ・滋賀医科大学医学部附属病院
- ・大阪大学医学部附属病院
- ・神戸大学医学部附属病院
- ・熊本大学医学部附属病院

その他病院

- ・神戸医療センター中央病院
- ・北野病院
- ・大阪赤十字病院
- ・済生会野江病院
- ・済生会中津病院
- ・岩倉病院
- ・倉敷中央病院

など

大学関係

- ・広島大学
- ・富山大学
- ・慶應義塾大学
- ・京都薬科大学
- ・立命館大学
- ・大阪薬科大学
- ・神戸薬科大学
- ・愛知学院大学
- ・武庫川女子大学
- ・姫路獨協大学
- ・就実大学

など

研究活動

京大病院薬剤部では、研究活動にも積極的に取り組んでいます。業務内容や薬物療法の客観的評価を行い、医療薬学会などで多数の学会発表を行なっています。新規性の高い成果については、英文誌に投稿し、最終的に論文博士号取得を目指している人もいます。

主な原著論文(2019-2021)

Yoshiki Katada: Pharmacist-physician collaborative care for outpatients with left ventricular assist devices using a cloud-based home medical management information-sharing system: a case report. *J Pharm Health Care Sci* 7, 5, (2021).

祝千佳子： 難渋する神経障害性疼痛・しびれに対してデュロキセチンが著効した子宮体がん椎骨転移症例. *日本緩和医療薬学雑誌*, 印刷中.

吉田優子: 2012-2018年における病棟薬剤師業務の質的変化〜リファンピシン処方に対する介入を指標として〜. *日本病院薬剤師会雑誌* 56(6), 643-650 (2020)

鋒山香苗: 病診薬連携で行う吸入支援のアウトカムの評価. *医療薬学* 46(8), 405-413 (2020)

Yoshiki Katada: Effects of fasting on warfarin sensitivity index in patients undergoing cardiovascular surgery. *Eur J Clin Pharmacol* 75, 561-568, (2019).

Kotaro Itohara: A Minimal Physiologically-Based Pharmacokinetic Model for Tacrolimus in Living-Donor Liver Transplantation: Perspectives Related to Liver Regeneration and the cytochrome P450 3A5 (CYP3A5) Genotype. *CPT Pharmacometrics Syst Pharmacol* 8, 587-595, (2019).

主な学会発表(2020)

田澤晃太郎: 「循環器領域の疾患別の薬剤管理、服薬アドヒアランスを向上させるには〜冠血管再建後の抗血栓療法 狭心症と急性心筋梗塞および服薬指導〜」第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月27日〜8月2日

川田将義: 「プロポフォールの中および脳中濃度実測値と TCI 予測値との相関」第18回日本 *Awake Surgery* 学会, 2020年10月3日

重面雄紀: 「ベンゾジアゼピン系睡眠薬に効果不十分なうつ病に併発する不眠症に対する睡眠薬変更による有効性に関する非盲検無作為化臨床試験」第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日〜11月1日

小島悠輔: 「抗うつ薬併用下における直接経口抗凝固薬による出血リスクの検討」第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日〜11月1日

中村友紀: 「パーキンソン病患者における非変角系ドパミンアゴニストの認知機能への影響」第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日〜11月1日

横井菜里: 「医薬品副作用データベースを用いた免疫チェックポイント阻害薬に関連する間質性肺疾患の発症及び転帰に関する調査」第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日〜11月1日